



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年1月25日

上場会社名 株式会社 帝国ホテル
 コード番号 9708 URL <https://www.imperialhotel.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 定保英弥

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 杉山和久

TEL 03-3504-1111

四半期報告書提出予定日 2019年2月1日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	44,128	2.7	4,468	13.4	4,642	12.3	3,223	13.8
2018年3月期第3四半期	42,952	2.2	3,940	2.1	4,135	1.6	2,831	2.2

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 3,071百万円 (2.9%) 2018年3月期第3四半期 3,163百万円 (5.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	54.33	
2018年3月期第3四半期	47.72	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	79,356	58,759	74.0
2018年3月期	79,225	56,577	71.4

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 58,759百万円 2018年3月期 56,577百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		7.00		8.00	15.00
2019年3月期		7.00			
2019年3月期(予想)				8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	1.3	4,800	2.2	5,000	0.8	3,500	3.0	59.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	59,400,000 株	2018年3月期	59,400,000 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	75,916 株	2018年3月期	75,916 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	59,324,084 株	2018年3月期3Q	59,324,084 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、貿易摩擦問題の影響などが懸念されましたが、企業収益や雇用情勢、個人消費の改善が継続するなど、景気は緩やかな回復を続けてまいりました。

ホテル業界におきましては、訪日外国人客数の増加に伴う宿泊需要や法人利用が堅調に推移するなか、相次ぐ自然災害による影響がありましたが、概ね良好な経営環境となりました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、特に外国人富裕層のさらなる利用拡大を図るため、海外に向けた営業活動を強力に推進するなど売上げの増進に全力を注ぐとともに、『東京ミッドタウン日比谷』の開業にあわせ、地域と連動したイベントや『インペリアルバイキング サール』開業60周年記念企画等、話題性のある各種催事を開催し集客増とブランド力の向上に邁進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同期比2.7%増の44,128百万円となり、営業利益は前年同期比13.4%増の4,468百万円、経常利益は前年同期比12.3%増の4,642百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比13.8%増の3,223百万円となりました。

セグメントの業績におきましては、ホテル事業の売上高は前年同期比3.0%増の41,295百万円、営業利益は前年同期比16.0%増の4,629百万円となり、不動産賃貸事業の売上高は前年同期比0.9%減の2,848百万円、営業利益は前年同期比6.6%減の1,482百万円となりました。

なお、当社グループが営むホテル事業は、第1四半期及び第3四半期に宿泊及び宴会需要が強く、売上高が多く計上される傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べて0.2%増加し79,356百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.0%増加し41,123百万円となりました。これは有価証券の増加などによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.8%減少し38,233百万円となりました。これは有形固定資産の減少などによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて19.6%減少し7,913百万円となりました。これは賞与引当金の減少などによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.9%減少し12,683百万円となりました。これは退職給付に係る負債の減少などによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて3.9%増加し58,759百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月11日に発表いたしました通期の業績予想につきましては、足元の受注状況なども勘案し、現時点において変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,530	23,732
売掛金	3,878	4,106
有価証券	4,300	12,002
貯蔵品	602	837
その他	600	447
貸倒引当金	△5	△3
流動資産合計	39,907	41,123
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,556	13,719
その他（純額）	5,654	5,846
有形固定資産合計	20,210	19,565
無形固定資産		
投資その他の資産	1,504	1,398
投資有価証券	8,667	8,626
その他	8,935	8,642
投資その他の資産合計	17,603	17,268
固定資産合計	39,318	38,233
資産合計	79,225	79,356
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,310	1,702
未払法人税等	1,092	312
未払費用	2,628	2,232
前受金	949	728
賞与引当金	1,196	406
建物解体費用引当金	287	256
その他	2,379	2,274
流動負債合計	9,845	7,913
固定負債		
退職給付に係る負債	7,134	7,063
資産除去債務	995	1,003
長期預り金	4,456	4,496
その他	216	120
固定負債合計	12,802	12,683
負債合計	22,648	20,596

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,485	1,485
資本剰余金	1,378	1,378
利益剰余金	53,410	55,743
自己株式	△89	△89
株主資本合計	56,183	58,517
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,113	865
退職給付に係る調整累計額	△719	△622
その他の包括利益累計額合計	393	242
純資産合計	56,577	58,759
負債純資産合計	79,225	79,356

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	42,952	44,128
材料費	9,327	9,586
販売費及び一般管理費	29,684	30,073
営業利益	3,940	4,468
営業外収益		
受取利息	26	27
受取配当金	24	28
持分法による投資利益	58	53
その他	84	65
営業外収益合計	195	173
経常利益	4,135	4,642
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1
特別利益合計	-	1
税金等調整前四半期純利益	4,135	4,644
法人税、住民税及び事業税	1,029	1,059
法人税等調整額	274	361
法人税等合計	1,304	1,421
四半期純利益	2,831	3,223
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,831	3,223

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	2,831	3,223
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	219	△245
退職給付に係る調整額	105	97
持分法適用会社に対する持分相当額	7	△2
その他の包括利益合計	332	△151
四半期包括利益	3,163	3,071
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,163	3,071

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

『「税効果会計に係る会計基準」の一部改正』（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ホテル 事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	40,093	2,858	42,952	—	42,952
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	15	15	△15	—
計	40,093	2,873	42,967	△15	42,952
セグメント利益	3,992	1,587	5,579	△1,639	3,940

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ホテル 事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	41,295	2,832	44,128	—	44,128
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	15	15	△15	—
計	41,295	2,848	44,144	△15	44,128
セグメント利益	4,629	1,482	6,111	△1,643	4,468

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。